

令和5年度 第7学年 理科 年間指導計画及び評価規準

学期	月	時数	学期	月	時数	生物、化学、物理分野	地学分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	9	1	4	7	単元1 いろいろな生物とその共通点 (1)生物の観察と分類のしかた	単元4 大地の変化 (1)火をふく大地	・生物の観察から、いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見出して理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けている。	・いろいろな生物を比較して見出した共通点や相違点を見出すとともに、生物を分類するための観点や基準を見出し表現している。	・さまざまな生物に関する事物・現象についての観察・実験の結果をレポート等に科学的観点で協働してまとめることができる。
	5	14		5	11	(2)植物の分類		・身近な植物の外部形態の観察を行い、共通点や相違点があることを見出し、植物の体の基本的なつくりを理解している。	・身近な植物の観察記録から、共通点と相違点を見出し、それに基づいて植物を分類するための観点や基準を見出し表現している。	・生物の体の共通点と相違点に関する事物・現象についての観察・実験結果をワークシート等に科学的観点で協働してまとめることができる。
	6	16		6	12			・身近な動物の外部形態の観察を行い、共通点や相違点があることを見出し、動物の体の基本的なつくりを理解している。	・身近な動物の観察記録から、共通点と相違点を見出し、それに基づいて動物を分類するための観点や基準を見出し表現している。	
	7	10		7	7			・火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けて理解している。	・マグマの性質と火山の形との関係性を見出し表現している。	・火山や地震に関する事物・現象についての実験・観察の結果を科学的観点から協働してレポート等にまとめることができる。
	予備【5】									
2	9	14	2	9	11	単元2 身のまわりの物質 (1)身のまわりの物質とその性質	(2)動き続ける大地	・身の回りの物質の性質を様々な方法で調べる実験から、物質には固有の性質があることを理解しているとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けている。	・物質の性質を調べ、物質には密度や加熱したときの变化など固有の性質と共通の性質があることを見出し表現している。	・物質のすがたに関するさまざまな事物・現象についての実験・観察の結果を科学的観点で協働してレポート等にまとめることができる。
				10	12	(2)気体の性質		・気体を発生させてその性質を調べる実験から、気体の種類による特性を理解しているとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身に付けている。		
	10	15		10	12	(2)水溶液の性質		・水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けて理解している。	・物質の水への溶解を粒子モデルを使い表現している。	・水溶液に関する事物・現象についての実験・観察の結果を科学的観点から協働してレポート等にまとめることができる。
				11	12	(3)物質の姿と状態変化		・状態変化によって物質の体積は変化するが、質量は変化しないことを理解している。	・水溶液から溶質を取り出す方法について、溶解度と関連付けて実験を行い、その結果を考察し表現している。	・状態変化に関する事物・現象についての実験・観察の結果を科学的観点から協働してレポート等にまとめることができる。
	11	14		11	12			・物質は融点や沸点を境に状態が変化することを理解している。	・混合物を加熱する実験から、沸点の違いにより物質の分離ができることを見出し表現している。	
		12	12	12	7		・地震の記録を基にその揺れの伝わり方の規則性に気づくとともに、地震の原因を地球内部の動きと関連付けて理解している。	・同一の地震において、地震計の記録を基に揺れの伝わる速さを推定したり、地震の揺れがほぼ同心円状に伝わることをとらえ、表現している。	・地震に関する事物・現象についての実験・観察の結果を科学的観点から協働してレポート等にまとめることができる。	
予備【5】										
3	1	11	3	1	9	単元3 身のまわりの現象	(3)地層から読みとる大地の変化	・光の反射や屈折について、その規則性を理解している。	・光の反射や屈折の実験から、光が水やガラスなどの境界面で反射、屈折する規則性を見出し表現している。	・光と音に関する事物・現象についての実験・観察の結果を科学的観点から協働してレポート等にまとめることができる。
				2	12	(1)光の世界		・凸レンズの働きについての実験から、物体の位置と像の向きとの関係を理解している。	・凸レンズを用いてできる像を観察し、その結果を考察し、像の位置や大きさ、向きについての規則性を見出し表現している。	・力の働きに関する事物・現象についての実験・観察の結果を科学的観点から協働してレポート等にまとめることができる。
	2	15		2	12	(2)音の世界		・音は物を振動させることによって生じ空気中などを伝わることを理解している。	・音についての実験から、音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見出し表現している。	
				3	5	(3)力の世界		・物体に力が働くとその物体が変形したり動き始めたり、運動の様子が変わったりを理解している。	・バネに力を働かせる実験の結果から、力の大きさとバネの伸びが比例していることを見出し表現している。	・地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象についての実験・観察の結果を科学的観点から協働してワークシート等にまとめることができる。
	3	10		3	5			・物体にはたらく2力についての実験から、力がつり合うときの条件を見出し表現している。	・物体に力働かせる実験の測定結果を処理する際、測定値の処理の仕方の基礎を身に付けている。	・自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象についてさまざまな科学的観点から整理して、ワークシート等に協働してまとめることができる。
予備【5】										
140		105								